



花紀行、満開の山々



天城山 シャクナゲ



日光 ズミ



佐渡 シラネアオイ



檜洞丸 シロヤシオ

6月定例会は
6月6日(火) 19:00~
我孫子 アピスタ

定例山行計画

ご案内



自然保護活動計画		リーダー:小野 グレード:1A	
どんぐり散歩10			
月 日	令和5年5月27日(土) 日帰り 雨天なら5月28日(日)		
山 域	都立水元公園、及び周辺	地形図	1/25000 草加 松戸
目 的	水元公園の自然観察をする。		
費 用	約1000円	交通機関	JR
行 程	8:00 金町駅ホーム松戸よりに集合⇒バス金町61 金町駅南口 8:05, 8:15⇒大場川下車⇒水元公園内散策⇒昼食⇒しばられ地蔵:南蔵院 バスカ徒歩⇒金町駅ホームにて解散 解散予定 14:00		
個人装備	登山靴は不要です。ウォーキングに適した靴が良いです。かなり歩きます。虫眼鏡、またはルーペがあれば尚良いです。		
メ モ	<ul style="list-style-type: none"> *雨天延期。前日 10 時までにメールで連絡します。要返信です。 土日両日とも雨なら中止します。 *今年は植物の開花がはやいので早めにしました。(花菖蒲園) *昼食持参でお願いします。 		

※山行日は**5月27日**です。希望者はメールにて募集、実施。

定例山行計画		平 標 山 (1983、7m)		リーダー秋山 稔 グレード:2A
月 日	令和5年6月24日(土)日帰り			
山 域	谷川岳	日の出 4:27 日の入り 18:51	1/25000 三国峠	
目 的	高原の美しい花 展望を楽しむ			
費 用	約, 12, 000 円(大人の休日クラブ利用)	交通機関	JR 新幹線:路線バス	
行 程	我孫子→柏→上野 6:42(たにがわ 401 号)→越後湯沢 8:02/8:20→平標登山口 8:54/9:20⇒鉄塔⇒松手山⇒平標山⇒平標山乃家⇒平元新道登山口⇒平標登山口 歩行時間 6 時間 10、7km 累計高度 1187m			
個人装備	日帰り装備一式			
メ モ	<ul style="list-style-type: none"> *上野駅新幹線ホーム19番線ホーム6時30分集合。 *累計高度1187m タフなコースコースでもあり、体調管理留意して下さい。 *山行後、湯沢名物銭湯入浴予定です。 *梅雨時、雨天翌日に延期致します。 *花の名山平標山で高山植物、展望を楽しみたい。 			

定例山行計画		聖岳～茶臼岳～光岳 3013m～2604m～2591m		リーダー：矢野 貞 グレード：3C
月 日	令和5年7月23日～27日(日月) 小屋泊4泊			
山 域	南アルプス	地形図 (又は日の出日の入り)	1/25000	
目 的	南アルプス最南端を歩く			
費 用	約65000円	交通機関	JR, バス、タクシー	
行程	1日目	7/23 我孫子駅→新宿→飯田駅		
	2日目	7/24 飯田駅→タクシー→易老渡⇒30⇒便が島⇒50⇒西沢渡⇒240⇒蘆畑分岐⇒聖小屋光小屋 <歩行時間7時間半>		
	3日目	7/25 聖小屋⇒⇒聖岳⇒奥聖岳⇒⇒聖小屋 <歩行時間5時間半>		
	4日目	7/26 聖小屋⇒140⇒上河内岳⇒120⇒横窪沢分岐⇒20⇒茶臼岳⇒40⇒希望峰⇒70⇒易老岳 ⇒60⇒三吉平⇒60⇒光小屋⇒20⇒光岳⇒15⇒光小屋 <歩行時間9時間10分>		
	5日目	7/27 光小屋⇒45⇒三吉平⇒70⇒易老岳⇒120⇒面平⇒50⇒易老渡→タクシー→バス →新宿→柏・我孫子 <歩行時間5時間>		
個人装備	縦走用小屋泊一式			
メモ	7/23 飯田まで夜行、若しくは前泊になります。飯田から易老渡まではタクシー18000円 飯田から慰労度山小屋小屋手配次第の日程になります。反対回り、茶臼小屋泊で光岳往復な る場合もあります。 また3日目茶臼小屋泊する場合があります 毎日バスの運行予定で変更の可能性あり 長い行程です。体力のある方を希望します。			

※希望する方は山小屋の予約の為、5月29日までに矢野貞に連絡してください。
山小屋の予約状況によっては、行程を変更します。

定例山行報告

定例山行報告	本社ヶ丸 (本社ヶ丸北面尾根～南面尾根) (1631m)		リーダー:千葉 グレード:2B
月 日	2023年4月22日(土) 日帰り		
山 域	中央線沿線	地形図	1/25000
目 的	破線ルートと富士山展望		
費 用	約4,000円	交通機関	JR バス
行 程	笹子駅 8:50⇒穴沢林道⇒本社ヶ丸登山口(角研山への) 9:10⇒尾根とりつき⇒送電鉄塔 51号 9:35⇒黒野田林道横断⇒送電鉄塔 32号 10:20⇒送電鉄塔 221号 11:05/11:30(昼食)⇒一本榎 ⇒1541m地点(石切山)12:35⇒本社ヶ丸 13:10/13:20⇒宝鋳山への分岐 13:30⇒からかさ岩 14:05 ⇒鉄塔 15:07⇒宝鋳山バス停 15:50/16:20⇒都留市駅⇒大月 (歩行時間:6時間)		
ルート 状 況	<ul style="list-style-type: none"> ・ルート上トイレはない。 ・登りは登山道ではない。笹子駅裏の穴沢林道途中から右側斜面を下り、沢を渡って尾根にとりつく。今回は丸太橋のかけてある所で沢を渡った。 ・登りは鉄塔巡視路となっていて巡視路特有のプラスチック階段が所々見られるが、雪のせいか浮いていたり、落ち葉に埋もれていたりで頼りにはならない。 ・下りの道はかなり急。ストック必携。 		
参加者	L千葉 SL矢野貞 SL佐藤健 土田 藤家(写真) 松下(やまなみ) 小島徹 小林安 秋山(記録) 鈴木 (男性7名 女性3名 計10名)		
メ モ	<ul style="list-style-type: none"> ・登りは登山道ではないので、30分を目安に先頭を交代しながら前進。地図と地図アプリを見ながら歩いて、地図読みの練習とした。 ・登りのルート(北面尾根)の下の方で、私たちのすぐ前方に熊の姿を目撃。逃げて行ったが、単独や少数で歩くのはやめた方がいいかもしれない。 ・登りのルートも下りのルートも他の登山者には出会わなかった(山頂と尾根上の正規登山道にはたくさんの登山者)。 ・午後から晴れる予報だったが、山頂ではまだ曇り。残念ながら富士山、南アルプスなどは見えなかった。間近に三ツ峠だけは見えた。 ・下りは標識もあるちゃんとした登山道だが、急斜面が続く。急な登りで疲れも出ていて、魔の時間帯でもあるのでゆっくり気を付けて下った。全員がストックを使用した。 ・概ね足並みは揃っていた。下りで一人が「足に力が入らない」と訴えたので少し休みを取り水分補給。メンバーが持っていた薬を服用。トップのSLがペースを抑え気味に歩いてくれて、無事下山することができた。 ・本社ヶ丸山頂到着時13:30を大きく過ぎていたら、宝鋳山に向かわず稜線を角研山まで戻り、笹子駅に直接下るルートをとる予定だったが、計画通り宝鋳山へと向かった。エスケープルートは多少時間は長くなるが、直接笹子駅に戻るためバスの時刻を気にしなくてよい。 		



丸太の橋を渡し、登りの尾根にとりつく



黒野田林道を横断、石垣をよじ登り尾根に戻る



北面尾根上の開けた場所で



本社ヶ丸頂で



下り からかさ岩の前で

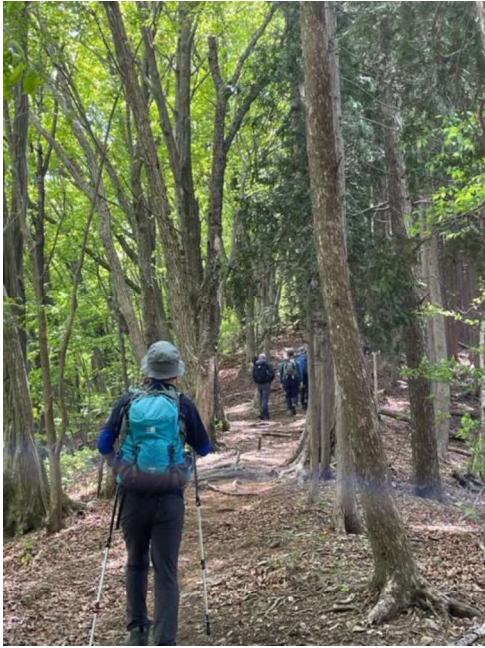
自然保護活動	どんぐり散歩9		リーダー:小野 グレード:1A
月 日	令和5年4月27日(木) 日帰り		
山 域	柏市利根運河		1/25000 守谷
目 的	身近な里山の自然観察をする		
費 用	500円	交通機関	車、自転車、徒歩
行 程	船戸市民プール南側空き地集合 9:00⇒里山歩き⇒昼食⇒里山歩き 解散 14:00		
ルート 状 況	問題なし。		
参加者	蟹江:記録 石塚:SL 高橋芳恵 箕輪完二 本田 新谷 大平 佐藤明子 小林安代:写真 蟹江:記録 田嶋:会計 高橋重 小野L 男性4名 女性9名 計13名(ゲスト1名)		
メ モ	初めての利根運河の観察でした。好天に恵まれました。		



定例山行報告			L: 本田 G: 1A
笹尾根 2 (浅間峠 861～熊倉山 964～三国山～生籐山 990～連行山 1,016～和田)			
月 日	2023年4月29日 (土) 日帰り	地形区	三頭山・高尾山
山 域	奥多摩	費 用	約 4,000 円
目 的	新緑の尾根歩き	交通機関	J R ・ バス
行 程	我孫子→新松戸 (武蔵野線) →西国分寺→立川 (青梅線) →武蔵五日市駅 7:54 /8:10 (バス) →8:35/9:00 上川乗⇒浅間峠 10:25/35⇒熊倉山 11:25/30⇒軍茶利山⇒軍刀利山 11:50/12:15⇒三国山⇒生籐山 12:35/40⇒連行山 13:20/30⇒分岐 14:06/⇒和田⇒和田バス停 15:20/15:42 (バス) →藤野駅 15:54/16:06 (中央線) →西国分寺→新松戸→我孫子 18:20 ＜歩行時間 約5時間＞		
ルート状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 都内から近場の笹尾根は人気があり多くのハイカーが来ているので、ルートは整備されていて標識も要所あるので迷うことはない ・ ルートは多いので、他の登山者とあまり行き交うことが少なかった ・ 下山ルートは多くあるが狭く急な処もあり、崩落箇所もあるが、気を付けて歩けば問題ない (通行止めにはなっていない) 		
参加者	本田 (C L) 北田 (A班L) 森岡 (B班L) 佐藤健 (C班L) 土田 (点呼) 秋山 (点呼) 外崎、高橋、田村 (医療) 新谷 (写真) 田嶋 (写真) 小林 (写真) 蟹江 (旗) 小山 (記録) 大賀 (会計) 北角 (医療) 藤崎 (新人) 男性 5 名 女性 12 名 計 17 名		
メ モ	<ul style="list-style-type: none"> * 連休の初日で交通機関が懸念されたが、電車も休日なので通勤客が乗車してなく、五日市のバスも通常の休日なみで増便があり座れた。 * 新緑の中、爽やかな気持ち良い尾根歩きだった。 * 行程の時間より足並みが速かったのとコース変更 (醍醐峠まで行かず手前の分岐から下山) したので1時間以上早いバスに乗れた。 		



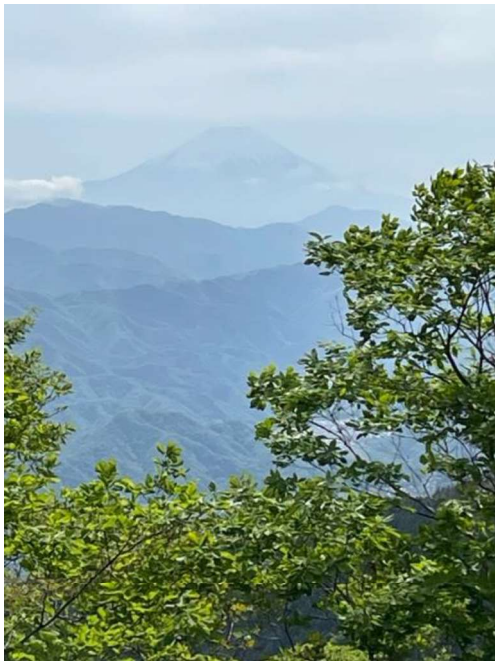
軍刀利山で集合



静かな尾根歩き



一人静



遠くにかすむ富士山

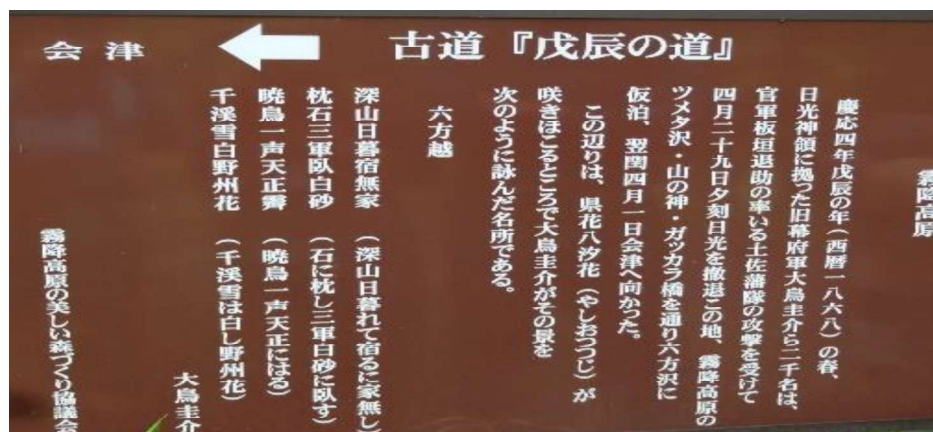


新緑に染まっている



和田集落の鯉のぼり

定例山行報告	戊辰の道を通して（日光）大山 (1158m)		リーダー：高橋芳 企画：中村八 グレード：1 A
月 日	令和5年5月6日(土) 日帰り		
山 域	日光	地形図	1/25000 日光北部 鬼怒川温泉
目 的	戊辰の道を歩き、ツツジを楽しむ		
費 用	約 2,500 円	交通機関	東武電車・タクシー・東武バス
行 程	東武柏 5:51→春日部 6:34/43→南栗橋 7:01/03→東武日光 8:18/30 (タクシー) 隠れ三滝入り口(812m)9:13→戊辰古道入り口 9:50→六方峰の石祠 10:15→合柄橋(1100m)10:40→大山(1158m) 11:55/12:25(昼食)⇒霧降牧場⇒猫ノ平(974m)13:15⇒マックラ滝 13:40⇒隠れ三滝入り口バス停 14:20⇒霧降の滝 15:00/15:31→東武日光駅 15:40/16:03 →南栗橋 17:42/53→春日部 18:09/20→東武柏 19:03 <歩行時間 約4時間30分>		
ルート状況	<ul style="list-style-type: none"> ・隠れ三滝入り口から登って行く戊辰古道の入り口があり、道なりに進む。合柄橋までは標識が無い。笹が茂っているため夏は藪になる可能性があり、秋から春にお勧めのコース。 ・合柄橋からは霧降高原⇄大山の登山ルートに合流する。 		
参加者	高橋芳 (L) 中村八・北田 (SL) 外崎 (やまなみ) 中村育 (カメラ) 石塚 (記録) 箕輪・蟹江 (点呼) 秋山 (天気・箕輪カ (渉外) 北門・小島洋 (会計) 佐藤 (歴史講師) 小野 (救急) 平野 (旗) 男性4名 女性11名 計15名		
メモ	<p>*東武電車は金券ショップで株主優待券を購入すると安価に乗車できる。全員取得 *天気に詳しい秋山さんのお陰でリーダーは天気に悩まされることなく負担が軽減した。結果、我孫子・柏は強風の悪天候だったが日光は無風の登山日和だった。ラッキー！ *事前に歴史講師の佐藤宏さんから戊辰戦争にまつわる歴史資料をいただき、戊辰古道の意味を確認できたことは大変意義があった。歩きながら古の敗走する戦士の姿を想像し、列を作って歩く私たちもさながら旧幕府軍の様だった。この道を通して会津に抜けたのもこの頃という *この一帯はミツバツツジ・ヤシオツツジ・ヤマツツジ・シロヤシオが多く一斉に咲き誇る様子は参加者から歓声が上がり、息を飲むほどの美しさに見とれた。連休といえども会う人は少なかった。合柄橋からはひたすら大山の牧場を目指して上るがここのつつじもまた素晴らしい。 *大山頂上は牧場の草原で正面は女峰山・赤薙山 向かって左に小真名子・大真名子・男体山と続き皇海山も望む。強い日照りではないが展望はとにかく素晴らしい。 *猫ノ平からマックラ滝まで下り、滝見を楽しむ。滝の前面には土砂崩れで落石が塞ぐように落ちていて、以前はもっと素晴らしかったとのこと。ここから玉簾滝・丁子滝と三滝めぐりとなるところだが、リーダーの下見が不十分でこの二滝は音だけの観察となった。 *予定より1時間早く到着したので霧降の滝まで道路に沿って歩くことにしたが、こちらも山道があるのでその方が歩きやすいが、ツツジ平のつつじの燃えるような赤も素敵だった。 *霧降の滝にはレストランや売店、トイレがあり、一日の締めくくりとしては格好の場所であった。30分ほどバスを待ち、ゆったりと時間をかけて朝と同様乗り換えながら帰途に着いた。 *連休最後の休日を人込みもなく、静かな山旅で終えることができた。</p>		





ガツカラの滝



全員集合



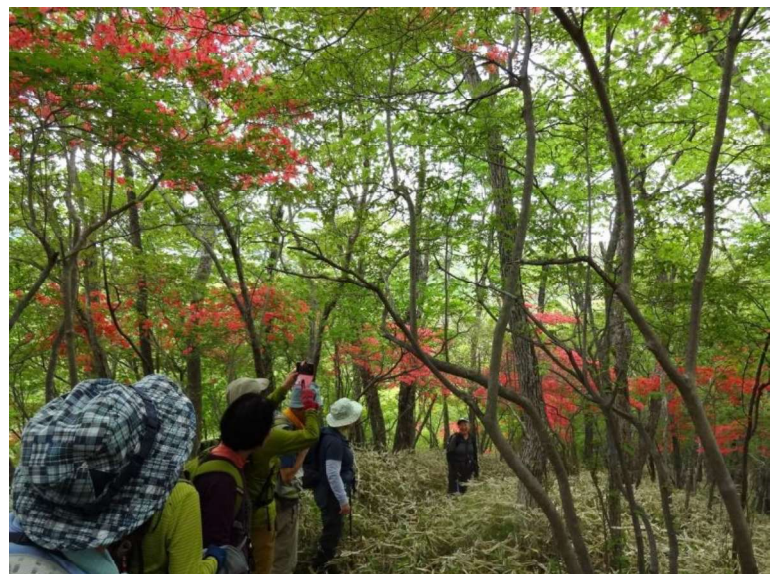
シロヤシオ



日光大山写真



早くもズミが



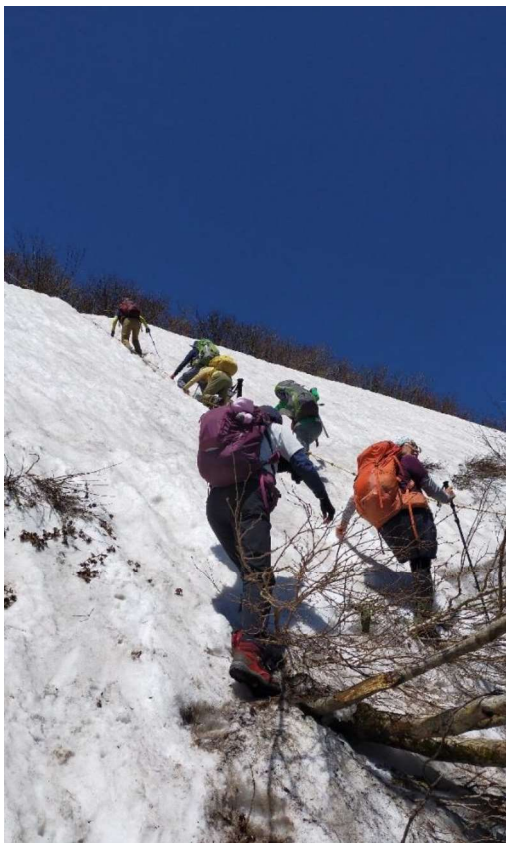
ツツジガが途切れる事無く

定例山行報告		アオネバ・金北山 (1,171.9m)		リーダー：千葉 提案者：佐藤明 グレード：2 B
月 日	2023年5月10～11日（日） 山麓泊			
山 域	新潟 佐渡島	地形図	1/25000	
目 的	大佐渡山脈の縦走 花を楽しむ			
費 用	約 45,000 円（ジパング利用）	交通機関	JR、タクシー、バス、フェリー	
行 程	1 日 目	我孫子 5:11→上野 5:43/ 6:14(とき 301 号)→新潟 08:12→(バス)→新潟港 9:25→(フェリー) 両津港 11:55/12:05→(ライナーバス)→アオネバ登山口 12:30/35⇒アオネバ十字路 14:30/40⇒ドンデン避難小屋 15:20⇒尻立山 15:45⇒ドンデン高原ロッジ 16:00 (泊) 〈歩行時間 3 時間〉		
	2 日 目	ドンデン高原ロッジ 6:00⇒金北山縦走路入り口 6:25⇒アオネバ十字路 6:40⇒マトネ 7:25⇒ツンブリ平 8:35⇒ブイガ沢の科尔 8:40⇒真砂の芝生 8:45⇒真砂の峰 8:55⇒イモリの科尔 9:10⇒天狗の休場 9:45⇒役の行者 10:10⇒あやめ池 10:30⇒金北山 11:05/40⇒マツムシ平⇒白雲台 13:00/13:45→(タクシー)→両津港 16:05→(フェリー) 新潟港 18:35 〈歩行時間 6 時間 20 分〉		
ル ー ト 状 況	<p>◎1 日 目 アオネバ～ドンデン高原ロッジ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1 番人気のトレッキングコース。別名「シラネアオイ街道」と呼ばれるほど群落が見事。ほかにもカタクリ、イワカガミ、ニリンソウなど多くの花を楽しめた。 ・前日まで降っていたという雨の影響か、歩き始めの道はぬかるみ箇所が多く、何度かある短い沢の渡渉も慎重に行った。 <p>◎2 日 目 ドンデン高原ロッジ～金北山～白雲台</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大佐渡のメインコース。芝草原や樹林、ザレ場と変化に富んだルートで、眺望もよく、シラネアオイ、カタクリ、ユキワリソウ、サンカヨウなど花の種類も豊富。 ・金北山直下はまだ雪が残っている。直登に近い急な雪の斜面を登るが、ロープがあり、しっかりステップが切ってある。アイゼン、チェーンスパイクを持参していたが全員装着せずに登ることができた。 ・金北山山頂からの下山道は砂利道、少しして舗装道路になりそのまま白雲台まで下れる。航空自衛隊の管理道路のため事前の登山届提出が必要。 			
参 加 者	L 千葉 SL 矢野貞 佐藤健(写真) 大島 佐藤明(やまなみ) 田村 吉川(会計) 土田 大賀(記録) 北角 男性 2 名 女性 8 名 計 10 名			
メ モ	<p>1 日 目 アオネバ～ドンデン山</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライナーバスのガイドの話につられ、牧野富太郎が見つけたという「ヤマトグサ」をみんなで探したが、分からなかった。後で聞いた話では、雑草のような草で、埋もれるようにしてあるため、ほとんどの人が気づかないようだ。 ・標高のまだ低い辺りではシラネアオイもすでに枯れかけていて残念な姿だったが、登るにつれ、きれいに咲いているシラネアオイが次々と現れた。 ・ニリンソウで覆われているような谷もあり、評判通り花は素晴らしかった。緑のニリンソウ、八重のニリンソウ、白いイワカガミなど貴重な花も見つけられた。 ・アオネバ十字路では虫が大量にいて、数名が気づかないうちに刺されていた。 ・林道に出てからすぐに宿泊先のロッジに向かわず、ドンデン山へ登った。避難小屋前からの眺望はよかったが、すぐに雲に覆われた。途中から風が強くなり最後はペースを上げて宿へ向かった。 <p>2 日 目 アオネバ十字路～金北山～白雲台</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高原ロッジは満員。ロッジ横にテントも 2 張りあった。 ・夕方のフェリーに間に合うように、2 日目の朝食はおにぎりにしてもらい、6 時に出発した。 ・金北山直下までは特に危険個所はないが、両側に日本海が望めるような開けた箇所では風が少し強くなり、肌寒さを感じた。 ・花は 1 日目に劣らず豊富に咲いていた。 ・金北山直下に来ると雪が残っている。急斜面の登り、トラバースなど気を付けて歩いた。 			

- 金北山からの下山は自衛隊管理道を通るため、事前申請が必要。宿泊の高原ロッジで提出してもいいが、数日前にトレッキング協議会にメールで提出しておいた。
- 下山後、白雲台からはタクシー（事前に予約）2台に分乗。4人は直接両津港に行き、美味しい海鮮昼食を楽しみ、6人はトキの森公園に寄り観光を楽しんだ。子育て中のトキの様子を間近に見られた。
- 二日間とも天候に恵まれ、目的の花も豊富に咲いていて満足できる山行となった。



真砂の峰で



山頂直下の雪渓



金北山 山頂にて全員



海を見ながら歩く登山道

佐渡の花々



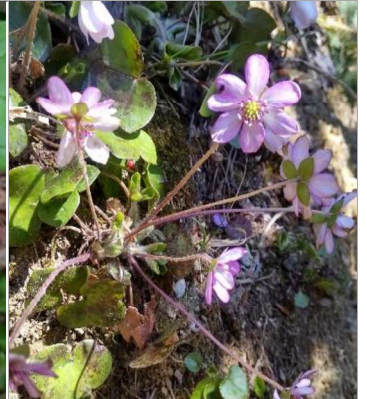
オドリコソウ



緑のニリンソウ



サンカヨウ



ユキワリソウ



エンレイソウ



白いイワカガミ



シラネアオイ



ザゼンソウ

定例山行報告		和田峠 (1600m)		リーダー: 矢野朝 グレード: 2A
月 日	令和5年5月12日(金)～13日(土) 1泊			
山 域	上信越	地形図	1/25000	
目 的	中山道の宿場(長久保宿、和田宿、下諏訪宿)を訪ね、中山道最大の難所和田峠を越える			
費 用	約22,000円(ジパング利用)	交通機関	JR JRバス	
行 程	1日目	我孫子 5:42→柏 5:46→上野 6:15/34(北陸新幹線はくたか551号)→上田 7:50→8:15(JRバス)→長久保着, 長久保宿見学 9:10/10:30→水明の里 10:45(休憩)/11:00→八幡神社 12:17(昼食)/40→和田宿資料館 12:53/13:25→本陣(和田宿)発 14:00→唐沢一里塚 15:40→先発車 16:10 後発車 16:35→民宿みや 16:55、民宿泊 (歩行時間 約6時間30分)		
	2日目	民宿みや: 先発車 7:15、後発車 7:42→和田峠口 7:40→接待茶屋跡 8:15/25→広原一里塚 9:03 →古峠(和田峠) 10:00(休憩)/15→西餅屋跡 11:00/15→浪人塚 12:08(昼食)/30→諏訪大社 春宮、万治の石仏 14:25→下諏訪駅 15:20/16:10(特急あずさ44号)→新宿 18:45→我孫子 19:44 (歩行時間 約7時間)		
ル ー ト 状 況	<ul style="list-style-type: none"> 旧中山道を歩いたのだが、途中国道で歩道がない箇所があり、大型トラックなどがひっきりなしに通るので危険この上ない。注意して歩いた。歩道のない国道は酷道だ。 和田峠の登りではビーナスライン(観光道路)を4カ所横断し、一カ所はビーナスラインの下のパイプトンネルをくぐらなければならない。雨でトンネルが塞がれ遠回りするようにとの案内があると聞いていたが、民宿の話では問題ないとのことだったのでトンネルをくぐることにし、無事通過することができた。 和田峠の下りではガレ場があり、下は切り立った急流で危険とのことだったが、行ってみると階段や鉄パイプなどで歩道が整備されており、安全に通過することができた。 			
参 加 者	矢野朝(L)、北田(SL)、外崎(会計)、高橋芳(会計)、森岡(記録)、中村育(写真)、佐藤清(やまなみ)、矢野裕(写真)、小野(旗)、蟹江(医療)、室崎、室崎育、中村弘 男性6名 女性7名 計13名			
メ モ	<ul style="list-style-type: none"> 民宿はキャンセルすると1週間前からキャンセル料を払わなければならないので2週間前から毎日何回も天気予報を見ていた。天気予報にはバラツキがあったが、大方の予報は1日目の5月12日は晴の予報だったが、2日目の13日は曇り後雨の予報。随分悩んだが、1週間前の前日決行することとし、参加者に案内した。 5月12日は快晴、13日は下諏訪宿に入ってから雨になったが、98%以上雨に降られることなく歩くことができ、ホッとした。 山行は会の目的だし当然だが、たまには山行を兼ねて由緒ある町や歴史の道を歩くのもいいのではないかと思います。 			



長久保宿本陣



和田宿本陣



唐沢一里塚



和田峠登り口



和田峠頂上

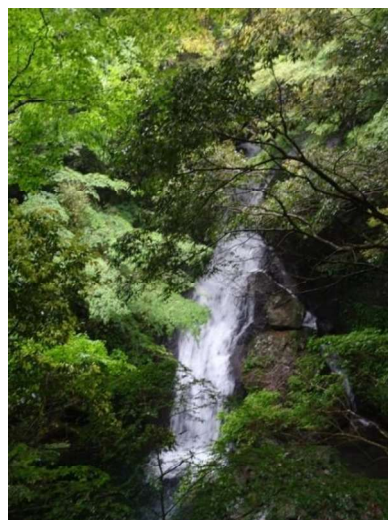


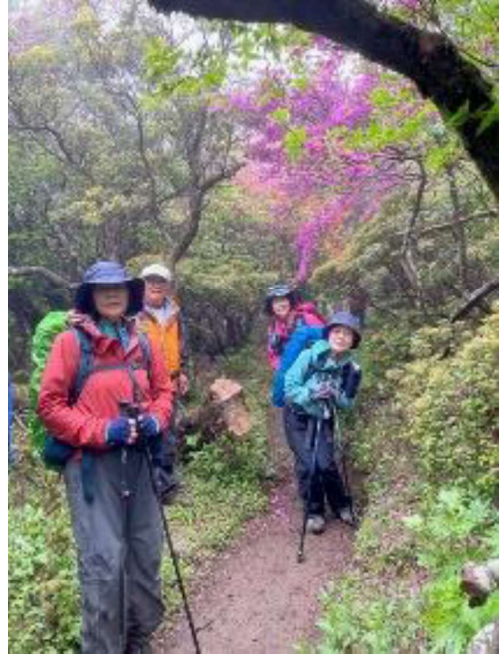
和田峠下る カラムツの森



万治の石仏

定例山行報告	天城峠～天城山 (万二郎岳) (1299m)		リーダー:新谷 グレード:2A
月 日	令和5年5月19日(金)～20日(土)1泊		
山 域	伊豆天城山	地形図	1/25000 伊豆
目 的	新緑とシャクナゲを楽しむ		
費 用	約20,000円	交通機関	JR・伊豆急・バス・ジャンボタクシー
行 程	1 日 目	我孫子駅 6:13→上野 6:53→東京 7:08/7:27 新幹線こだま 705号名古屋行自由席→熱海 8:10 /8:26→河津着 9:43 バス 9:55 (バス) →鍋失 10:40→二階滝展望台 11:45→寒天橋 11:50→天城峠 12:25→旧天城トンネル 12:30 (トンネルを抜けた所の東屋で昼食) 13:20→天城峠バス停 13:40/13:55→河津 14:56→伊東 15:52→入浴後宿着 17:40 (歩行時間:約3時間) 瓶山保養所泊	
	2 日 目	宿 8:30 タクシ→天城山縦走登山口 9:50→四辻 10:15→万二郎岳 11:40 (昼食) 12:10→馬の背 12:30→アセビのトンネル→シャクナゲを見る 13:15→万二郎岳 13:35→四辻 14:45→天城縦走路登山口 14:55/15:15 (バス) →伊東駅 16:10/16:22→熱海 16:49 (熱海で反省会) 熱海 18:35 こだま 738号→品川 19:26→我孫子着 20:18 (歩行時間:約5時間)	
ル ー ト 状 況	天城山縦走路は前日の雨のために悪路が続いた。		
参 加 者	新谷 (L)、土田 (SL)、武内、室崎、中村育、田島、小林安 (記録・写真) 男性3名、女性4名 計7名		
メ モ	<ul style="list-style-type: none"> ・1日目は終日雨、2日目は曇りの予報だったため、1日目に天城峠の踊り子道を歩き、2日目に天城縦走路に行くように予定を変更した。 ・天城峠へは修善寺に向かうバスを鍋失で降りて旧道の踊り子道を歩く。天城トンネルを抜けたところに東屋があり、雨に濡れずに昼食をゆっくり取ることができた。この道は八丁池まで続くので行けるところまで行く予定だったが、雨がひどくなったので下道に降りてバス停へ。この降りる道が狭くて急勾配だった。 ・2日目の天城山縦走路は、前日の雨のために大きな水溜りができ全体的にぬかるんで滑りやすく、ドロドロになって進んだ。 ・逆周路の人とのすれ違いもあって時間を要したが、晴れている日の渋滞は思いやられる。 ・新緑の中に立つヒメシャラの姿が美しく、またミツバツツジ、ヤマツツジのピンクやオレンジの花びらが苔の上に彩りを添えていた。 ・馬の背を過ぎ、アセビのトンネルに差し掛かると満開の石楠花が現れる。 ・帰りのバス時間のため、残園ながらここから引き返す。 ・登山口で友人を捜索する人に呼び止められ不明者の写真を見せられたが、3日前は天気が良く道も紛らわしくないのにここでも遭難する可能性があることを知る。 		





定例山行報告	檜洞丸 (1601m)		リーダー:大島 グレード:2B
月 日	令和5年5月20日(土) 日帰り		
山 域	西丹沢	地形図地形図(又は日の出日の入り)	1/25000
目 的	シロヤシオとブナの新緑		
費 用	約5,800,円	交通機関	JR 小田急線 タクシー
行 程	我孫子 5:31→新宿→新松田 7:52/8:10 (タクシー) →箒沢公園橋バス停 8:55→登山口 9:00→板小屋沢の頭 10:44/58→ヤブ沢の頭 11:31/51→石棚山 11:54/12:30(昼食)→新山の頭 12:31/35→白崩れの頭 12:45/50 →テシロノ頭 13:00/07→檜洞丸山頂 13:44/14:01→展望園地 15:07/16→ゴウラ沢出合 16:00→ツツジ新道入口 16:36/38→西丹沢ビジターセンターBT16:47/17:00 (タクシー) →新松田 17:45→我孫子 21:12 <行動時間7時間50分 歩行時間6時間50分>		
ルート状況	<ul style="list-style-type: none"> * 箒沢公園橋の登山口から石棚山までは急登が続く。滑りやすい箇所には鎖が設置されている * 板小屋沢の頭は山頂の南側を巻く。藪沢の頭にかけてはキレット状の鞍部を通過。 * つつじ新道と合流地点より山頂までは木道と木の階段が整備されている。 * 石棚山稜、つつじ新道とも一か所、登山道の崩落箇所があり慎重に通過を要する。 * ルート上は、ほぼ完璧に道標があり、道迷いの心配はない。 		
参加者	大島L 田村SL 矢野貞・写真 佐藤健 小島洋・記録 小島徹 秋山 佐藤明 北角・会計 男3人、女6人 計9名		
メモ	<ul style="list-style-type: none"> * 新松田駅から登山口まで往復ジャンボタクシーを予約、バスより30分早く出発できた。 * 登山口から1時間ほど登った所で一人が「体調不良の為下山したい」と希望した。申し訳ないが参加者の一人に付き添いをお願いした。その後7人で予定通り行動した。 * 1400m付近からシロヤシオ、ミツバツツジが見られるようになり、1500m付近からは見渡す限りのシロヤシオ、ミツバツツジの登山道を行く。近来にない花付きで「わあ、すごい！」以外の言葉を失う。 * もう一つの目的、ブナの新緑も素晴らしく、広々としたブナ林の中の登山道を、緑のシャワーを全身に浴びながら、気持ち良く歩くことが出来た。 * 時折晴れ間も見えて相模湾も見渡せた。 * つつじ新道との分岐の所にある、シンボルツリーのシロヤシオも見事に咲き誇っていた。 * 檜洞丸山頂ではほんの少し雨がぱらつき、ガスガスの為、写真撮影してすぐ下山した。 * 下山道のつつじ新道もシロヤシオ、ミツバツツジのトンネルだった。 * 18時の約束だったタクシーは一時間以上も早く来てくれていて17時に乗ることが出来た。 * 予定よりだいぶ早く新松田駅に着いたのでゆっくり反省会をして帰宅した。 		



色とりどりの上衣 華やかに頂上にて



上手く撮れたかな？

ミツバツツジとシロヤシオの競演



大木のブナ



ブナ林にて



名残惜しい下山

テント泊は予定を変えやすい 雨が降れば停滞すればいいし、早朝を撮影に時間に充てるなら行程を短くしてもいい (資料から)

感想 (21名参加)

・大変有意義な研修でした。三人それぞれの話が聞けて良かったです。(他に同意見)

特に女性ならではの話は目から鱗でした。(他に同意見)

・小山さん、郷田さんのお話しは興味深く聞きました。「女性の立場からのテント泊の留意点は特に参考になり、是非「ヒトリテント」を試してみたいと思いました。

・小山さんの女性向けテント泊の話はとてもよくわかりました。

白崎さんの素晴らしい写真、テント泊の説明良かったです。テント泊、あこがれますね。

・白崎さんの「テント泊」の魅力・・・写真の素晴らしさには圧倒されます。(他に同意見)

・白崎さんは資料が素晴らしかったです。プロ並みの写真と彼の経験に基づくテント泊の楽しさに頷けます。自然の懐に包まれてのテント泊山行は私も大好きです。50歳代に三百名山を目指した時には5月連休中は、藪が濃く登山道が無い山々に重いテントを背負って残雪を踏んで挑みましたが、写真も撮らずにピークハントに徹して今思えば白崎さんのようにもっと山を楽しめばよかったと反省しています。今後は低山の麓にテントを張って山行を楽しみたいです。

・テント泊をしなくなって5年程過ぎてしまっています。持ち物も考え方も随分変わってきているような感じがします。小山さんのちょっとした持ち物のヒントが参考になりました。

・普通の一般的な登山では見られない景色がテント泊をすれば見ることができるんですね。

テント泊をする人の思いが分かりました。(他に同意見) 山でのキャンプではなく湖畔や高原でのキャンプをしたことがないので、そこから始めた方が楽に入れるかなと思いました。

・テント泊のことを考えたことはほとんどありません。できるだけ軽い装備で登りたいと考えておりましたが、夕陽を見たり、朝日を見たり星空をゆっくり見たいと考えたこともあります。今日の話聞き、心が動きました。

・テント泊、楽しそうですね。でも私はこれからしようとは思わないです。

・テント泊は私にはハードルが高く感じています。ただベース型なら・・・挑戦してみたいと思います。

・テントでの楽しみについて様々な方法があることが分かった。これまでテント泊をしたことが無かったので、今後の参考にしようと思った。

・テントの楽しみの一つの「自然との触れ合い」をメインテーマにきれいな写真と説明に楽しく拝聴しました。テントのもう一つの楽しみに、仲間との触れ合いがあります。コロナの為もあり、ソロテントが大流行ですが、多少窮屈でも大きなテントを使っての山行もいいものですよ。

・素晴らしい研修でした。写真、文章、と言い興味を持ちましたが、でも私には知識もないし、金もないし、特に時間もない。残念ですね。

・コロナ前は当会でも一人テントではないけれどテント山行ありました。

皆で食事を作り、とても楽しい山行であったと思い出しました。一人テントはもう私には体力的に無理だが、話を聞いてやはり小屋泊とは違う楽しみ方があると再確認しました。

・学生時代はテント山行が当たり前だったので、その良さは分かる。しかし今は重い荷物を背負っての縦走はかなりきつい。自分の場合はキャンプ地でのテントを張っての山行を目指したい。研修は分かりやすく、テントの魅力を伝えてくれました。大変面白く聴きました。

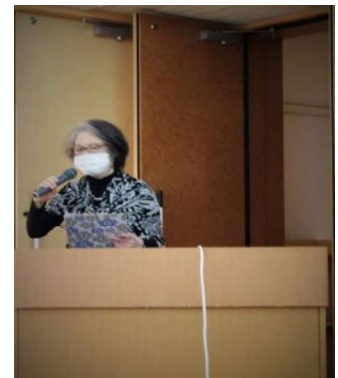
・とにもかくにも写真が素晴らしかった。山の美しさ、その瞬間をとらえている。「恵み」の写真がとても美しく不思議だった。天の川と黄色い光に浮かぶ山のシルエット。足元は雪。

どれくらいそこにいたのかな、趣味って凄いな。キャンプ場のお食事がとても豪華。何でしょう。いろいろなテントの楽しみ方をなさっていてうらやましいです。パッキングは私も背中の方に重いものを詰めます。

・資料の写真が素晴らしく、うっとり見とれました。



白崎さんの写真



小山さんの写真

撮った写真を現像しながら注視する...という一文を読みながら、ふと幼い日に見た父との日々の一コマを思い出しました。父も写真を趣味としていて当時は白黒でしたが私は印画紙の中にだんだん見えてくる画像にワクワクしながら見つめていたのを思い出しました。

白崎さんは自分でシャッターを切ったのですからそのワクワク感は何倍も大きいのでしょう。白崎さんの山や写真、テント泊に対する思いを教えてくださいました。

小山さん、郷田さんのテント泊に対する思いも知る事が出来、よかったです。

質問

- ・テント泊の楽しさばかりでなく、困った事や失敗談も聞いてみたかったです。
 - ・テント泊の魅力が伝わりました。パッキングは用具の収納場所とか知りたかったです。
 - ・パッキングの勉強で若者（学生）のカバンの背負い方に疑問を持った。
- その他 ロープワークを教えてください。



郷田さんの写真

講師からの回答

【失敗談】情報確認不足・準備不足

南アルプスの聖岳～赤石岳までをテント泊で縦走しようと計画したことがあります。予定では、聖岳から登る積もりでしたが、聖岳登山口に向かうバスは小屋の宿泊予定者しか乗れず、樺島に向かうことになりました。逆ルートだと赤石小屋までの標高差は1700m弱。ザックの重量は22kgほど。

登れるかどうか不安なまま登ったら、赤石小屋までで体力を消耗してしまいました。

翌朝、体力が続きそうかを確認するも、縦走を続けるのは無理そうだということで、下山しました。

……そんなこともありました。

【パッキングは用具の収納場所】

資料に書いたもの以外でいつもこの辺に落ち着く、というのは、パーナーとコッヘル類でしょうか。

ぼくは基本的にα米が好きではないので、よほどのことがない限り、お米を炊きます。その米はコッヘルに収納して持っていきますので、重量物になりますから、カメラの下辺りにいつもいます。

ガソリンパーナーを持っていくときには、このコッヘル周辺にパーナーを入れます。

そんなところでしょうか、

【若者（学生）のカバンの背負い方】

確かに肩紐を伸ばして、腰の後ろ辺りに重心があるような背負い方は気にはなりますが……ですね。

運営委員会・山行部会議議事録

令和5年度 運営委員会(第3回) 議事録

令和5年5月16日(火)

1. 行事予定 (令和5年6月～8月)

巻末参照

2. 各部より

- 《**会長**》 * 運営委員会の前に、岳人祭担当の方達を始め各グループの熱い議論が伺えました。
先日、我孫子の近所を散歩しましたが、気候の良く気持ち良かったので、皆さんもこの時期の気持ち良さを楽しんで欲しいです。
- 《**副会長**》 * 3日前、和田峠・中山道を1泊2日で歴史探訪してきました。連日6～7時間、結構な歩きでした。(北田)
* 今、筋トレは実は身体を壊すという興味深い本を読んでいます。またお知らせします。(新谷)
- 《**総務部**》 * 6月定例会は、アビスタにて決定済みですが、7月定例会は、並木本館になります。
- 《**会計部**》 * なし
- 《**装備部**》 * なし
- 《**会報部**》 * 山行報告を受け取ったらGmailで返信するようになります。
- 《**県連**》 * 深草さんは、まだ療養中で当面は高橋芳が代行を継続します。
* ちばニュース5月号を配信しました。
* 籠岩山での登山講習には、細谷さんと土田さんが参加されます。

3. その他

- * 緊急連絡先情報の登録管理方法に関し、現状の検討内容報告と質疑応答。理解を促進するために、希望者に模擬テスト実施検討する。(白崎山行部長)
- * 岳人祭の検討状況報告あり。キャンプファイヤー・グループ別食事、研修等計画。イス・テーブル等の持ち込み協力をお願いしたい。(北田副会長)
- * 新入会員募集に関し、柏市広報への掲載を依頼した。相当混んでいる様子なので早めに手配を実施した。公開登山募集もタイミングを合わせ早めに内容を決めて欲しい。(秋山さん)

6月定例会司会	大平さん	やまたん原稿 締切り	6月号	5月25日(木) 矢野貞子さん
			7月号	6月25日(日) 矢野貞子さん

高橋芳、中村(八)、武内、千葉、桐生、矢野貞、中村育、郷田、村越、新谷、室崎、北田、藤家、深草、小林安、蟹江、森岡、白崎、田嶋、土田、松下、秋山、矢野(朝)、一氏、細谷 (運営委員25名)

1. 山行部より

『島崎三歩の「山岳通信」』。ご存知方も少なくないと思うが、長野県下の遭難事例を元に、「安全登山」のための情報をWebで発信しているメディアだ。発行は、原則的に1週間ごと。前回このコーナーで取り上げた、八ヶ岳・県界尾根での道迷い遭難の事例も、元ネタはこちらである。

さて、その春の特別号では、山岳遭難救助隊の岸本隊長からの「7つのお願い」が掲載されていたので紹介させていただこう。残雪期の登山についての注意事項なので、時期には少し過ぎてしまっているが、来期のための参考にさせていただけたらと思う。

そのお願いの7つとは、①気象情報を確認しましょう、②地図と地形をよく確認しましょう、③雪崩に注意!、④アイゼン・ピッケルの携行、⑤アイゼン装着時は慎重に、⑥アイゼンシリセードは厳禁!、⑦紫外線対策は万全に!、ということで、なぜそれが大事なのかを解説してくれている。

興味があったら、こちらからアクセスいただきたい。

https://www.pref.nagano.lg.jp/kankoki/sangyo/kanko/sotaikyo/documents/toku_20230419.pdf

白崎 (山行部長)

2. 山行計画予定

3. 教育研修

【机上研修】

日程	対象者	研修場所	研修内容	担当講師	資料等
6/6(火)	新人	定例集会	山行中の食料と水の飲み方	秋山	
6/6(火)	会員	定例集会	応急手当、救急対応(松葉杖)・事例報告	外崎/村越	
7/4(火)	新人	定例集会	地形図の読み方・地図アプリの利用	藤家	
7/4(火)	会員	定例集会	膝痛の予防と対処方法・膝痛事例体験報告	大山	

【実技研修】

日程	山名	対象者	研修内容	担当講師
6月	平標山	参加者	高山植物	秋山
7月	月山	参加者	花の百名山、信仰の山	石塚

4. 山行報告

山名	参加者数		山行NO 1252	やまなみ	カメラ	ヒヤリハット	特記事項
	会員	一般					
本社ヶ丸 (4/22)	10		1252	松下	藤家	無し	登山道外に熊
武甲山 (4/22)	13	1	1253	村越	北田・田嶋	無し	
高岩山 (4/23)	5		1254	佐藤清	佐藤清	無し	
どんぐり散歩9	12	1			小林安	無し	

(4/27)							
笹尾根 2 (4/29)	17		1255	本田	新谷・田嶋	無し	
(日光) 大山 (5/6)	14	1	1256	外崎	中村育	無し	
大朝日岳～竜門 山(5/6-8)	中止						
アオネバ・金北 山(5/10-11)	10		1257	佐藤健	佐藤明	無し	
和田峠 (5/12-13)	12	1	1258	佐藤清	中村育	無し	
川苔山 (5/13)	中止						

5. 山行後の第一報（山行部長に提出）について

~~~~~

山行報告第一報

千葉県勤労者山岳連盟加盟

岳人あびこ 山行部長 宛

山 名：

日 程：

リーダー：

ヒヤリハットの有無：

山行総括（感想・留意点・目的は達成できたか等）：

~~~~~

- ・6月定例会にて会員へ説明を行った後、運用を開始する
- ・新第一報のフォームは会のホームページ様式集に掲示する

6. 公開登山について

公開登山はこれより検討に入る。

市民山行とは異なり、少人数での開催を基本に検討していく

7. その他

労山基金担当より

ゲストが山行に参加した場合、保険料の徴収・申請を徹底して欲しい。

労山基金について、ゲストが山行2日前以降にキャンセルした場合、保険の解約が出来ない為、リーダーは100円づつ集金を行うこと。

リーダーが保険料の振り込みを行なっても問題ないか、確認を行う。

(リーダー)

外崎 高橋芳 大畠 武内 千葉 矢野貞 本田 矢野裕 新谷 村越 郷田 石塚 室崎 大平 北田 藤家 小林
佐藤清 森岡 小野 松下 矢野朝 一氏 白崎 小島徹 土田 秋山 小山 細谷

1 行事予定 (令和5年6月～8月)

	月	日	行 事	場 所	備 考
当会	6月	6 (火)	定例集会	アピスタ	19:00～20:50
		20 (火)	運営委員会・山行部会議	市民プラザ	19:00～20:50
	7月	4 (火)	定例集会	我孫子北近隣センター並木本館	19:00～20:50
		18 (火)	運営委員会・山行部会議	市民プラザ	19:00～20:50
	8月	1 (火)	定例集会	我孫子北近隣センター並木本館	19:00～20:50
		15 (火)	運営委員会・山行部会議	市民プラザ	19:00～20:50
県連					

2. 山行計画予定 (令和5年5月～8月)

日 程	分	山 名	山 域	L/企画者	G	備考 (目的)
5月27日 (土)	自然	どんぐり散歩10	水元公園	小野	1 A	水元公園の自然観察をする。 5月21日迄にメール申込
6月3日 (土)	定	矢倉岳	足柄山地	松下	1A	日本の滝百選 (洒水の滝) 【募集済み】
6/3-4 (土～日)	定	長者ヶ岳一天子ヶ岳	富士山周辺	小山	1 A	ゆるいテント泊で富士山を臨む 【募集済み】
6月11日 (日)	定	茅ヶ岳	奥秩父	高橋芳/ 富井	2 A	深田久弥の終焉の地 【募集済み】
6/11-12 (日～月)	定	乾徳山～黒金山	奥秩父	矢野貞	3 B	西沢溪谷に下る 【募集済み】
6/13 (火)	定	房総海岸線	房総	小島洋	1 A	県連イベント 【募集済み】
6/17 (土)	定	根子岳・四阿山	上信越	北田	2 B	百名山に登る、レンゲツツジ 【募集済み】
延期	定	伊豆半島	伊豆	室崎	1 A	伊豆半島巡り
6月24日 (土)	定	平標山	谷川	秋山	2 A	高原の美しい花 展望を楽しむ
7月中旬	定	八甲田山・岩木山	東北 (津軽)	北田/福山智	2 B	百名山2山と高山植物
7/23-27 (日～木)	定	聖岳～茶臼岳～光岳	南アルプス	矢野貞	3 B	南アルプス最南端 5月中にメールにて申込
7/23～24 (日～月)	定	月山	出羽山地	石塚	2 A	花の百名山、信仰の山

7月下旬	定	苗場山	上越	矢野裕/ 中村 弘・ 福山幸	2 B	天空の楽園、地塘 福山幸（秋希望）
8月	定	農鳥岳	南アルプ ス	佐藤清/ 鈴木	4 C	南アルプス3000M_峰満喫 奈良田～農鳥岳～ _ 間ノ岳～三国平～ _ 塩見岳ピストン _
8/3-5 (木～土)	定	鹿島槍ヶ岳	後立山 連峰	藤家	3 B	夏山を満喫する 【募集済み】
8月	定	大室山	丹沢	高橋芳	2 B	5月予定→8月に延期
秋に実施予定	定	荒船山	西上州	森岡	1 A	